



2016年11月

青梅みどり第二保育園

気温差が激しく、寒さを感じる季節となりました。

11月になると、あちこちで、風邪やインフルエンザのニュースも聞かれるようになります。最近、流行する胃腸炎（ノロウイルス感染症かも）咳の風邪も聞かれます。咳の出るときは、咳エチケット（口を手で押さえる。マスク）をお願いします。手洗い、うがいに加えて十分な睡眠で予防に心がけていきましょう

8日(火)0・1歳 身体測定
15日(火)2~5歳 身体測定
30日(水) 乳児健診



●歯みがきカレンダー

☆ 6月に4, 5歳に歯みがきカレンダーを配布して、色塗りしてもらいました。その後、「歯科健診に行っています。はみがき始めました。」等耳にします。

☆ **第2段! 3~5歳クラス**に歯みがきカレンダーを配ります。

3歳は、手の細かい動きが難しいかもしれませんが、前 左右の奥にブラシを入れてみましょう。磨いたらカレンダーに色塗りも挑戦してみてください。


●インフルエンザ

流行がはじまって、風邪症状で受診されるときには、「インフルエンザではないでしょうか」と確認してください。インフルエンザと診断されて、薬を飲みすぐに熱が下がっても、全身に影響があるため、発病から5日間は、登園できません。さらに、発熱が続いた場合は解熱後3日間経過してからの登園となります。夕方解熱を確認したら、その日は日数に数えません。インフルエンザは予防接種をしても、感染することがあります。

小さい子どものいる家庭では、人ごみに入る大人の予防接種も大切です

出席停止期間(発病後5日間と解熱後3日間)の考え方

発病 熱	解熱1日目	解熱2日目	解熱3日目	解熱4日目	解熱5日目	登園
発病 熱	熱	解熱1日目	解熱2日目	解熱3日目	解熱4日目	登園
発病 熱	熱	熱	解熱1日目	解熱2日目	解熱3日目	登園
発病 熱	熱	熱	熱	解熱1日目	解熱2日目	解熱3日目

 お休みする期間

●感染性胃腸炎

代表的なものにノロウイルス ロタウイルス感染症があります。

ノロウイルス感染症は、突然の噴水の様な嘔吐で始まるといわれています。が、少しの嘔吐や下痢で始まることもあります。熱は微熱程度だったりします。二枚貝やウイルスで汚染された水 食品で食中毒として発生することもあります。嘔吐物は塩素剤(ハイター等市販品5~6%ものは1リットルの水に3.3ml)での消毒 煮沸消毒(85度C 1分以上)が必要です。衣類や環境は塩素製剤0, 0.2%液(水1リットルに3, 3ミリリットル)で消毒します。

集団生活で発生すると、風邪等より少ない菌数で症状が出る為 自宅で2回以上嘔吐した場合は、休養し、観察をお願いします。1日そのまま、嘔吐がおさまり、食欲もあり元気な場合は、登園ください。下痢や嘔吐が続く場合は、脱水や合併症も心配ですので受診し、日常の指導を受けましょう。流行期には、ノロではないですか?と確認してください。保育園で嘔吐 下痢した場合は、量や他の症状の程度により、お迎えをお願いすることがあります。

嘔吐後の1食は水分中心に対応します。

ロタウイルス感染症は乳幼児期に多い激しい嘔吐下痢を伴う感染症です。39度以上の高熱が出て、白っぽい下痢が特徴です。すぐに脱水に陥るので注意が必要です。2~5日で治りますがまれに脳症も起こします。水分は濃いジュースなどは避け、OSI等常温のものを一口ずつ時間をかけてゆっくりあげましょう。それでも嘔吐する場合は、受診しましょう。

40周未満のお子さんは予防接種も任意で受けられます。吐物で汚れた物は塩素消毒をしましょう。

お腹の風邪が原因の下痢 激しい咳による嘔吐等もありますので、半日くらい

様子を見る必要があります。

症状は高熱や咳 鼻水等の風邪症状です。高熱が2日続くときは、インフルエンザを疑います。

最近簡易検査でA型B型かすぐにわかります。

抗インフルエンザ薬があり、使うとすぐに熱が下がることが多いです。

熱が下がっても、全身にウイルスの影響が残るため、安静が必要です。薬もきちんと使うことが大切です。胃腸も弱っている為、水分、ビタミンの多く入った消化の良い食物を摂りましょう。

咳や鼻水の多い時は、室内の加湿 温度調節にも気を配りましょう。

お世話をする人も、マスク等を使い、鼻水や便に触れたら、石鹸で30秒ほどしっかり手洗いをしましょう

赤ちゃんは、別室に寝かせて、うつさないようにしましょう。

